

2016年05月19日

プレスリリース

地球環境戦略研究機関 (IGES) / 国連大学サステイナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)

第 8 回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム 【ISAP2016】開催

テーマ: Translating Knowledge into Actions towards 2030 and beyond

公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)と国連大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS)は、7月12日(火)と13日(水)、パシフィコ横浜にて第8回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム【ISAP2016】を開催いたします。

昨年、国際社会は長年にわたる交渉の結果、歴史的とも言える2つの重要な国際的合意 - 持続可能な開発目標(SDGs)を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」と2020年以降の新たな気候変動枠組みである「パリ協定」 - に至りました。ISAP2016では、「Translating Knowledge into Actions towards 2030 and beyond」をメインテーマに、これらの画期的な合意の成果を国際・国家・地方／地域レベルで効果的に実施していくための方策について議論を行い、持続可能な社会に向けたアクションを促していきます。

ISAP2016では、これら2つの合意に関するグローバルな動向についての「キーノートダイアログ」、G7 富山環境大臣会合開催地である富山市市長にご参加いただく「特別セッション」、そして「気候変動とSDGsをグローバルな観点から議論する全体会合」、「主要アクターの役割に焦点を当てたサブプレナリーセッション」、「具体的なアクションについてテーマ別に議論を行うパラレルセッション」の構成で、第一線で活躍されている国内外の有識者や論客を迎え展開していきます。

【登壇予定(一部抜粋・セッション順)】

- ローレンス・トゥビアナ 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)特別代表／
持続可能開発・国際関係研究所(IDDRI)創設者兼所長
- 玉木 林太郎 経済協力開発機構(OECD)事務次長
- 住 明正 国立環境研究所(NIES)理事長
- 森 雅志 富山市長
- 有馬 利男 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事
- カーバー・ザーヘディ 国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)持続可能な開発担当
事務局次長
- 山内 邦裕 国際協力機構(JICA)地球環境部長
- エレニタ・ダノ エロージョン・テクノロジー・コンセントレーションに関する行動グループ(ETCグループ)
アジア地域ディレクター

- フィリップ・ベグリオ 持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)
グローバル&ソーシャルインパクトマネージングディレクター

【ISAP2016 開催概要】

- 日 時： 2016年7月12日(火)・13日(水)
12日(火)9:30-17:00 13日(水)9:30-17:30 (両日共に9:00開場・受付開始)
- 会 場： パシフィコ横浜 会議センター
(横浜市西区みなとみらい1-1-1 <http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>)
- 主 催： 公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)
国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)
- 協 力： 国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)、経済協力開発機構(OECD)、
国立環境研究所(NIES) 他
- 言 語： 日本語／英語 (同時通訳付き)
- 参加費： 無料
- 申込方法： IGESお申込みサイト (<http://www.iges.or.jp/isap/2016/>) よりお申込みください。
- 申込締切： 2016年6月30日(木)

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES: Institute for Global Environmental Strategies)について

IGESは、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向け、国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関、企業、NGO等と連携しながら、気候変動、自然資源管理、持続可能な消費と生産、グリーン経済などの分野において実践的な政策研究を幅広く行っています。1998年、日本政府及び神奈川県との支援により設立。本部は神奈川県葉山町に所在し、約100名の研究者を擁し、その約3分の1は外国籍です。関西(兵庫県)、北九州、北京、バンコクの各センター・事務所と共に、グローバル及びアジア太平洋地域のネットワークを生かした戦略研究を展開しています。

国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)について

UNU-IASは、サステナビリティとその社会的・経済的・環境的側面に注目しながら、政策志向型の研究と能力育成を通じて、持続可能な未来の構築に貢献することを使命とする研究・教育機関です。UNU-IASの活動には、「持続可能な社会」、「自然資本と生物多様性」、「地球環境の変化とレジリエンス」という3つのテーマがあります。また、国連における政策決定や議論に貢献することにより、国際社会に奉仕しています。東京を拠点としているほか、石川県金沢市に地域にユニットを置いています。

【本件に関するお問い合わせ】

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)

プログラム・マネジメント・オフィス 広報担当: 乾 由佳

Tel: 046-855-3734 Email: iges_pr@iges.or.jp <http://www.iges.or.jp/>

国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)

広報担当: 有馬 牧子

Tel: 03-5467-1212 Email: arima@unu.edu <http://ias.unu.edu>

ISAPプログラム概要

【第1日目】7月12日(火)			
9:30-9:55	開会セッション OP		
9:55-10:25	開会挨拶&フレーミングプレゼンテーション		
10:30-12:00	キーノートダイアログ 持続可能な社会の実現に向けて <ul style="list-style-type: none"> ローレンス・トゥビアナ 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)特別代表/持続可能開発・国際関係研究所(IDDRI)創設者兼所長 他 		
12:00-13:10	休憩		
13:10-15:10	全体会合1 気候変動に対処するための行動:主要ステークホルダーの役割 P-1 [スピーカー] <ul style="list-style-type: none"> 玉木林太郎 経済協力開発機構(OECD)事務次長 住 明正 国立環境研究所(NIES)理事長 他 		
15:10-15:30	休憩		
15:30-17:00	サブプレナリーセッション SP-1 低炭素投資に向けた政策調和	パラレルセッション PL-1 UNFCCCパリ協定における 二国間クレジット制度を含めた 市場メカニズムの実施に向けて	パラレルセッション PL-2 気候に脆弱なアジア太平洋地域の リスクへの対応: 持続可能な開発に向けての課題と機会
【第2日目】7月13日(水)			
9:30-10:00	特別セッション 都市の役割~G7富山環境大臣会合都市パラレルセッションを振り返って [スピーカー] <ul style="list-style-type: none"> 森 雅志 富山市長 		
10:00-12:00	全体会合2 アジアにおけるSDGsの革新的な取り組みの開始: 統合計画、資金、パートナーシップ、透明性の強化 P-2 [スピーカー] <ul style="list-style-type: none"> 有馬利男 国連グローバル・コンパクトボードメンバー/グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事 カーベ・ザーヘディ 国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)持続可能な開発担当事務局次長 山内邦裕 国際協力機構(JICA)地球環境部長 エレニタ・ダノ エロージョン・テクノロジー・コンセントレーションに関する行動グループ(ETCグループ)アジア地域ディレクター <div style="text-align: right;">*SDSN Japanとの共催</div>		
12:00-13:15	休憩		
13:15-14:45	サブプレナリーセッション SP-2 ビジネスアクションの強化: 挑戦と解決策	パラレルセッション PL-3 低炭素技術の普及促進に向けて: 既存モデルの妥当性と課題	パラレルセッション PL-4 気候変動への適応とSDGs実施における 金融包摂の役割
14:45-15:05	休憩		
15:05-16:35	サブプレナリーセッション SP-3 先進的な都市の取り組み: 持続可能な社会への転換	パラレルセッション PL-5 持続可能な消費と生産: アジアでのSDGs実施に向けた ステークホルダー連携への第一歩	パラレルセッション PL-6 統合的ランドスケープ管理: 知識を変革の実行に活かす 効果的なアプローチ
16:35-16:50	休憩		
16:50-17:30	閉会セッション		